



浜崎小学校便り 楠若葉

令和2年6月23日

学び合い 共に遊び 励む 意欲あふれる浜崎っ子

— 今持っている力を伸ばせる 楽しい学校 浜崎小 —

「水難事故」に注意を!!!

次の記事は、6月17日付の日本経済新聞のものです。

小学生、水難事故相次ぐ プール休止の影響懸念

5月下旬から6月上旬に、各地の川や水路で小学生が溺れる水難事故が相次ぎ、少なくとも6人が犠牲になった。子ども同士で遊んでいたケースが目立ち、1例を除いては平日の事故だった。夏に向けて、新型コロナウイルスの影響によるプール休止が川での水難を誘発する恐れもあり、専門家は地域全体での見守り強化を呼び掛けている。

長野県の男児（7）と鹿児島県の女児（6）が5月下旬に川で溺れ死亡。6月も、福岡県大木町の水路で兄（10）と弟（7）、東京都の女児（8）と埼玉県的女児（9）が川で溺れ、犠牲になった。（中略）

プール休止に伴い、川や監視員のいない海水浴場に向かおうとする子どもが増えると予想され、斎藤氏は「親や地域の人が近寄らないよう繰り返し呼び掛けてほしい」と話している。

「2020.6.17 日本経済新聞」

このあとも6月20日に三重県で、小学校3年生男児が溺れて命を落としています。命を落とした子どものご家族の気持ちを考えると胸が詰まります。きっと「もっと気を付けるよう言っておけば…」など後悔の念もあられることでしょう。今年の子どもの水難事故件数は、新型コロナウイルスの影響もあり異常な多さで、夏を迎えるこれからさらに増える危険性があるとされています。

浜崎小学校校区には、横田川、玉島川、唐津湾など、水の危険性が高い場所がたくさんあります。学校では、今日、次のことを子ども達に注意喚起をしました。（「夏休み生活のこころえ」より）

- 魚つりや川遊びは、必ず大人の人と出かけます
- 海に泳ぎに出かけるときは家の人の許可をもらい、大人の人と出かけ「遊泳区域」で泳ぎます。
※ 新型コロナウイルス対策で、遊泳区域が例年と変わる可能性があります！
- 泳いではいけないところでは泳ぎません（汐湯の裏から玉島川の河口、その他の川も禁止）

学校では、水難事故にあわないための授業も全学年で行います。

ぜひ、ご家庭でも子ども達へ保護者のみなさんから、「命」を守るためにどうすべきか、子の「命」への親の思いなどを話してください。

よろしくお願ひします。

